

「大強度陽子加速器施設計画評価報告書（案）」
（平成 12 年 7 月、原子力委員会及び学術審議会
加速器科学部会大強度陽子加速器施設計画評価
報告書（案）の意見募集について）に対するご意見
（寄せられた意見をそのまま複写したもの）

大強度陽子加速器施設計画評価報告書への意見

氏名： 梅野 誠(年齢49)

概要:

世界一の性能を有する研究施設を多くの国内外の科学者に提供することは、我が国の科学技術の発展と国際社会への先進国としての貢献・義務として非常に有意義と考える。

意見:

建設規模が1500億円を越えるプロジェクトですが、我が国の科学技術の発展と国際社会への先進国としての貢献・義務として世界一の性能を有する研究施設を建設し多くの国内外の科学者に提供することは非常に有意義と考えます。

この計画の推進する上での私の気づき事項は次の点です。

(1)、この計画は、1500億円規模の大型プロジェクトであり評価報告書に有るように、その予想される成果(OUTPUT)を「国民各自の身近な成果」として積極的に広く国民に知らせる仕組みを考える必要があります。

(2)この研究施設計画は原研とKEKの統合計画ですが計画段階から資金計画を含めた推進責任体制をより明確にすることがプロジェクト推進と完結の必須条件と考えます。

(3)さらに、この施設は完成後長期に使用されるのでその管理運営体制について早急に具体的に検討すべきと考える。

以上

大強度陽子加速器施設計画評価報告書（案）に対する意見

氏名 蓮実 明子 （年齢 37）

概要：

あらゆる分野で物質解明の一端を担うこの施設のはたす役割は大きい。日本は、このような施設に投資すべきであり、グローバルな視点で人類のためになると思う。

意見：

米国では、ヒトゲノムの解読に成功したという。これからますます期待がかかる生命科学の分野においてもこの施設の果たす役割は大きい。また、そうしたことにより、新たな科学が創出され、新たな産業が生まれるであろう。例えば生命科学の分野であれば新薬の開発であったり、治療法であったり。それだけでも充分意義の高い魅力のある施設である。

また、原子力発電所をかかえる国として避けてはとおれない問題に、廃棄物処理がある。その高レベル放射性廃棄物の長寿命核種の短寿命化、非放射化といったことが実現すれば、問題解決の大きな一歩を踏み出すことになるだろう。

こうした研究開発は、日本のためだけではなく全世界の人類の未来のためである。

わたしたちは、次世代に明るい未来を残せるように使命感をもってこのような計画にとりくまなければならない。日本は先端技術を持った国として、また、経済力のある国として、このような施設に投資すべきであり、責務でもあると思う。

科学技術の二一ズは一刻を争うものである。早急に施設建設の着工を望みたい。

氏 名

長谷川

康雄

(年齡)

50才)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

これに強く
をい。を
評価し、と
な表る
適切をれ
る。敬進
にお断
で判断
成なり
賞多同
大要が
にと画
結果設計
評価見設
高い施
のり
（東）
書生価
告先評
報友の

(ご意見記入欄) 800字以内でご記入下さい。

[illegible]

